

# ゆうこうの家通信



発行：NPO 法人 発達・心理  
相談センター「ゆうこうの家」  
住所：名古屋市天白区表山 1-1753-2  
電話：052(893)6077  
👉電話番号が変わりました!!

## VOL.9

### 新しいゆうこうの家ってどんなところ？

3月19日新しいゆうこうの家開所！完成した悠幸ビルの2階で主な活動を開始しています。ここでは個別療育やカウンセリングの部屋が6つあり、また簡易卓球教室も完備しています。また、3階にある健幸ホールは共有スペースとして余暇支援教室で利用しています。エレベーターも完備！1階のカフェ Abbey では、くつろぎの時間が楽しめます。



健幸ホールでは余暇支援教室などを



明るく優しい雰囲気のカフェ Abbey  
ランチとフリードリンクが美味しいぞ



明るくてピカピカ！な待合室④と相談室⑤  
そして一人で黙々と練習したい時にぴったりかもな簡易卓球室⑥



駐車場はビル前に9台分、また北近隣にも数台分を確保。近隣に駐車する時は場所の確認を！



これまではほとんどが保護者と先生、お子さんと3人で行っていた個別療育。今年度から先生とお子さんの二人で行うことになりました。先生もお子さんも保護者さんも少し寂しい気持ちになったことでしょうか。または開放感を感じている方も？「一緒に参加できなくて残念」という声もありましたが、実践してみると良いことも。お子さんと二人だけで行うことにより、一層集中できる環境が生み出されたのです。課題の進み方も効率的になり、お子さんものびのびと療育に参加できるように。課題終了後は、保護者の方に内容を説明する時間も設けておりますのでご安心ください。

## 卓球教室の大幅増加！



3階の広ーい健幸ホールを使用できるということで、余暇支援教室の卓球を大幅に増やしました。卓球台も今まで2台だったのですが、6台へ増加。また、これまで卓球教室は「中学生卓球教室」「高校生卓球教室」の二つでしたが、この他に「小学生卓球教室」「女子卓球教室」「スマイル卓球教室」の3つが増え、卓球教室は全部で5つになりました。



これは「スマイル卓球教室」。主に特別支援学校、特別支援学級に在籍しているお子さんを対象にした教室です。5つの教室の中でも一番盛り上っています。



これは「女子卓球教室」。「女子」の先生も混じっておられます…。

体を使ったりの運動は好きじゃない、というお子さんもいたりしますが、それでも参加し続けていると、いつの間にか上達していたり、自分でびっくり。上手

になるのはうれしいこと。達成感を得るのは大事なこと。「卓球教室の日、楽しみ！」なんて声も聞こえてくるようになりました。子どもの上達は早いです。時々、先生も打ち負かされたりしなかったり…。

広々とした部屋で、お子さんも教える側も互いに楽しく学べる場になっていることが、何よりも先生たちはうれしいです。ええ、負け犬の遠吠えなんかじゃありませんよ！

## 鉄道クラブも「大增発」



「鉄道」。それはほとんどの男子の心を驚掴みするもの、心の安定を招くもの。しかしほとんどの保護者がわからない理解できない、それが「鉄道」です。(一部の大きな友達を除く)

鉄道クラブは、これまで月2回の活動でした。それを多大なるご要望と貴重なご意見により、月4回に“増発”いたしました。

さて、一部で圧倒的な人気を誇るこのクラブでは「(リアル)鉄道物知り組」と「プラレール組」に分かれて活動しております。近頃の「物知り組」のブームは鉄道の試験問題を作ってくること。そして何名かがその問題に挑戦すること。この姿がよく見られます。ちなみに「試験」は任意の非公式ですのであしからず。また専任講師の加藤文昭さんにも、毎回参加していただいております。ありがとうございます。親でも付き合いたくない鉄道に関しての果てしない問答に答えていただいております。ありがたいことです。



おうちでここまで広げるのは難しいでしょう

ところで、昨年プラレールの寄付を募ったところ、多くの方から寄付をいただきました。プラレールを卒業したお子さんたちの思い出と一緒に、ありがとうございました。

「プラレール組」では健幸ホールでそれを子どもたちが思い思いに展開し、まるでデパートの展示場のような状態になります。もちろん、時には取り合いになったり壊しあったり、プラレールへの愛をまざまざと見せつけてくれます。ですがそう



こんなにたくさん集まりました

した衝突を避け、協力しあい、お互いに折り合いをつける、といった社会性を身に着けることを学ぶ…そんな機能と共通の趣味を楽しむ場を持ち合わせることが鉄道クラブの大切な存在意義なのかも知れません。

## 今まで…そして、これから…

### ◎若狭湾キャンプ

毎年恒例となった若狭湾キャンプ。去年も8月に出発しました。

6年目の今回は、初めてシュノー



ーケリングに挑戦！ ライフジャケットを装着して足ヒレつけて、まずは浮く練習からスタート。しっかり浮くことができたら、徐々に海の中へ。すると大きな魚やキレイな魚が目の前に。さらには底が深い部分の上をおっかなびっくり泳いでみたり、ウニやヒトデ



を触ったり、すごく良い体験ができました。ライフジャケットを着た彼らは、さながら海を守る防衛軍みたいで素敵でしょ。

万華鏡も作りましたよ。数名と貝殻拾いに行つて、キラキラした鮮やかさはないものの、色々な形や色、大きさの貝殻をゲット。思い出に残る若狭湾ならではの万華鏡ができあがりました。



さて遠出の若狭も昨年でひとまずお別れ。今年から大勢での合宿は、余暇支援教室ごとに所内での合宿となる予定です。そのため、8月は、ほとんど合宿活動になる予定です。お楽しみに！

### ◎女の子グループ・コスモス



最後は2人と人数が少なくなりましたが、ボランティアの大学生のお姉さんが入ってくれて、静かにこ

やかに活動を続けることができました。そして、それぞれ中学、高校に進学ということから、一旦、終了でございます。お世話になった大学生のお姉さんも、子どもの福祉施設に就職が決まりました～。おめでとうございます～。

## ◎中高生グループ



中高生グループも、卒業、進学に伴い、メンバーが大幅に変わりました。昨年度で卒業された人たちも、新天地で頑張ってください！

## スタッフ近況報告

### ○おめでた

宇佐美先生が無事出産。現在、産休、育休中です。おめでとうございます！

### ○仲間入り

近藤那香（こんどうともか）さん

はじめまして。新しくこちらでお世話になることとなりました、近藤那香（こんどうともか）です。趣味はアニメや漫画を見ることと旅行です。友達との旅行も好きですがふらっと一人旅も好きです。私は1年前からボランティアでゆうこうの家には関わらせていただいていたので、この度スタッフとしても働くことができるということで、これからもっと頑張りたいと思っています。宜しくお願いいたします。

加藤文昭（かとうふみあき）さん

2年前、ゆうこうの家の「鉄道講座」を実施して以来、ボランティアとして「鉄道クラブ」の活動に随時参加してきました。今年度からは、毎回参加させてもらっています。子どもの頃から鉄道が大好きで、10年

ほど前に日本全国JR線全路線を乗り終え、今も自由気ままに「乗り鉄」を楽しんでいます。また、教員としての体験や、教育相談員としての経験から、ますます子どもたちが好きになりました。

自分同様、鉄道が大好きな子どもたちと過ごす毎週土曜日の「鉄道クラブ」の時間は、自分にとって何物に代え難い、貴重な宝物のような時間です。

### ●お悔み



昨年秋に、顧問の久野能弘先生がお亡くなりになりました。久野先生には、ゆうこうの家設立以来、大変お世話になりました。久野先生の教えを忘れずに、これからも、通ってくる子どもたちのために頑張って、恩返しをしたいと思います。

## NPO 法人「ゆうこうの家」の 11年を振り返って 魚住 君枝子

平成 18 年輕度発達障害ということばが一般化し始めたころ、心理士による療育を希望する方が増え、クリニックの対応だけでは追いつかなくなり、NPO 法人を設立しました。

駐車場に付随していた古民家を修理し、10年間利用してきましたが、手狭になり、また老朽化してきましたので、ここ数年次の対策を考えてきました。

このたび、1階を就労と生活支援を柱として活動している株式会社 DIPPS が、2階を NPO が利用するという形でビルを新築できました。3階は小ぶりですがホールになっています。様々な形で利用してほしいと思います。

発達に偏りがあるという事は裏返せばそこが長所にもなり得ます。多動はエネルギーにあふれていること、好きなことへの過集中や拘りは何かを極める力かも知れません。マイナスとして、自分や他人を責めず、そことどう付き合うかを集団活動や、療育を通じて学んでほしいと思います。

新しいゆうこうの家をこれからもどうぞよろしく願い申し上げます。